CWAJ report

'11-'12

MARCH 2012

東日本大震災—CWAJ の取り組み

CWAJ では、2011 年４月に「東日本大震災支援基金」を立ち上げ、新たな活動を開始し、続けてきました。これからも国内外の協賛者の皆様のご協力を得て、被災地に未来への希望を届けたいと願っています。

CWAJ こころのケア・プロジェクト

被災者の心のケア対策は、今なお最重要課題のひとつです。心の健康がなくては、地域の復興も、教育も考えられません。そこで震災直後より専門家による医療チームがたびたび現場に入り、罹災患者、傷ついた子どもや高齢者、燃え尽きそうな現地医療スタッフの心のケアにあたってきました。CWAJ では加藤進昌先生に代表世話人をお願いして、心のケアの医療チームが活動しやすい環境を作り、一人でも多くの被災者が心の健康を取り戻せるように、サポートすることを決めました。

地震、津波、原発被害に加えて精神科の医療過疎に苦しむ福島県相双地区では、福島県立医科大学の丹羽真一教授を中心に、新しいアウトリーチ型の心のケアのシステムがスタートしました。2012 年１月相馬市にオープンした「相馬広域こころのケアセンター」および「メンタルクリニックなごみ」に、CWAJ こころのケア・プロジェクトの資金から約 400 万円を投じて、車椅子対応の巡回・送迎用車輌を購入、寄贈しました。

１月９日に相馬市で開催された記念式典には、CWAJ からも会長以下 18 名の会員が出席し、車輌と、萩原英雄画伯の版画の贈呈式を行いました。CWAJ のロゴをつけたワゴン車が相双地区を走り、地元の皆様のお役に立てることは、世界各地の会員にとって大きな誇りです。

CWAJ 福島被災学生奨学金

大震災のために志ある若者が学業をあきらめなくてすむように、復興をめざす若者の夢をかなえるお手伝いができるように、40 年の歴史をもつ CWAJ 奨学金に、新たに福島の被災学生を対象としたプログラムが加わりました。

2012 年４月より、福島県立医科大学で看護学を専攻する男女の被災学生３名に、年間 50 万円、２年間の奨学金を支給するものです。震災後にキャラバン隊で診療にあたられた医療チームの方々からも、同大学の看護学生の献身的な活動を賞賛する声が数多く寄せられています。奨学生の皆さんがつらい経験をプラスに変え、素晴らしい看護師・助産師として、地域に貢献してくださることを祈っています。（p3 に奨学生紹介）

当基金には、国内はもちろん、世界各地の会員や友人たちから多くのご寄付が寄せられました。謹んで御礼申し上げます。 福島の復興にはなお長い年月を要します。車輌には維持費も必要です。CWAJ では、「なごみ」の活動支援および被災学生奨学金を今後も継続していきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

VVI チャリティーコンサート

2011 年 12 月 11 日、視覚障害をもつ音楽家とパソナ株式会社の全面的なご協力を得て、パソナ本社ホールにて東日本大震災被災地支援のためのチャリティーコンサートを開催、会場を埋めた 200 人を超える聴衆が、筑波大学附属盲学校ハンドベルクラブＯＧ会あかね、栗山龍太さんのギターとボーカル、木村りえ・木村りさ さんのピアノの素晴らしい演奏を楽しみました。また当日は、1999 年に CWAJ 視覚障害学生奨学金を受けた南沢創さん夫妻が手作りのアクセサリーを販売し、売上を全額ご寄付くださいました。

コンサートの純益 523,000 円は、社会福祉法人日本盲人福祉委員会を通じて、被災した視覚障害者が震災で失った白杖など、生活用具の購入にあてていただきました。

CWAJ Cultural Program 琴&尺八 DUO

カート&ブルース チャリティ-コンサート

Date: 2012 年 3 月 17 日
Time: 1:30 開演 1:00 開場
Venue: フランシスカンチャペルセンター 六本木
Tickets: ¥2000, (12 才以下 ¥1000)

純益はすべて東日本大震災支援基金にあてられます。
お問い合わせ culturalprogram@cwaj.org

40 周年を迎えた

CWAJ 奨学金制度

女性リーダーを育てることが　世界を変えると信じて

1972 年に現在のような奨学金制度が創設されてから 40 年、CWAJ 奨学金を受けて国内外の大学・大学院で勉強し、将来への道を切り開くことができた女性はすでに 320 名におよび、国内外のさまざまな分野でリーダーとなって活躍しています。世界には経済的理由で小学校にさえ通えない子供たちが多数いますが、CWAJ は一貫して高等教育を受ける女性に絞って奨学金を提供してきました。私たちの限られた資金を投じて少数の情熱あふれる女性の教育を支援することで、そうした世界を根本から変えていけると信じているからです。創設当時は海外留学する日本人が対象でしたが、1980 年代からは日本で学ぶ外国人留学生にも枠を広げました。2012 年度は、計 4 名の女性に各 200～300 万円を支給することになっています。

CWAJ は視覚障害者のサポートにも心を砕き、1978 年以来、視覚障害をもつ男女の大学・大学院生のための奨学金も提供してきました。国内で学ぶ学生と海外留学する学生に、過去 10 年間は毎年約 2 名、各 200 万円ずつを支給しています。視覚障害者のみを対象とした返済不要の奨学金は日本では他にほとんど例がなく、これまでにこの奨学金を受けた 58 名は、教育、司法、企業、芸術などの第一線でめざましく活躍しています。

CWAJ 奨学金の特色のひとつは、受給者が学業の卓越性、研究課題の質と実行可能性、社会貢献への可能性の 3 点を基準として選出され、年齢や専攻について一切の制限がないことです。これまで、他の奨学金の受給資格から外れた 40 歳以上の女性や、子供を連れて留学する学生、留学先で出産する学生も積極的に支援して、大きな成果を上げてきました。また、奨学金期間の終了後も CWAJ との交流を続ける元奨学生が多いことも、特色のひとつです。特に視覚障害学生奨学金の受給者とは、VVI（ｐ４参照）が受け皿となって、交流やサポートを続けています。今秋予定されている 40 周年記念の同窓会には、多くの奨学生が集まって旧交を温められることと期待しています。

なお、昨年の大災害を受けて、CWAJ では今年度から新たに福島県立医大看護学部の男女学生を対象にした福島被災者奨学金を設け、来年度以降も継続して支給する予定です。（p.1、p.3 参照）

2011 年度 CWAJ 奨学生

CWAJ 海外留学大学院女子奨学金

２名、支給額 各 300 万円

白井　あれい

一橋大学社会学部卒業
留学先：オックスフォード大学セッド・ビジネススクール
専攻：経営学

竹内　奈穂

日本大学生物資源科学部卒業
留学先：UCL ユニバーシティ・コレッジ・ロンドン
専攻：持続可能な都市計画

CWAJ 外国人留学生大学院女子奨学金

２名、支給額 各 200 万円

ケセリ, スムル　（トルコ共和国）

ハセッテペ大学医学部卒業
在学校：総合研究大学院大学自然科学研究機構・生理学研究所 博士課程
専攻：生理学（聴覚障害治療）

CWAJ 佐野力奨学金

梁　滋璐（リャン, ジールー） 中華人民共和国

中国電子科学技術大学電気工学部卒業
在学校:東京大学大学院工学系研究科博士課程
専攻：電気系工学アドホック・ワイアレスネットワーク

CWAJ 東京アメリカンクラブ・ウィメンズグループ奨学金

１名、支給額 200 万円

ジェヤモハン, プラシャンティ　（インド）

マデュライ・カマラジャ大学微生物学修士
バラディダサン大学バイオテクノロジー専攻修士
在学校：東洋大学大学院学際・融合科学研究科バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター博士課程
専攻：バイオナノ融合科学

CWAJ 視覚障害学生海外留学奨学金

１名、支給額 200 万円

福地　健太郎

筑波大学第２学群人間学類卒業
留学先：サセックス大学修士課程
専攻：国際教育開発

CWAJ 視覚障害学生奨学金

１名、支給額 200 万円

御園　政光

筑波大学大学院教育研究科障害児教育修士課程修了
在学校：東京女子大学人間科学研究科博士課程
専攻：生涯人間科学

CWAJ アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター奨学金

１名、支給額 200 万円

サージェント, キャサリン（アメリカ合衆国）

スミス大学卒業　東アジア言語文学専攻
在学校：ミシガン大学東アジア研究日本学修士課程
専攻:日本の女子教育史

CWAJ60 周年記念海外特別奨学金

１名、支給額　18 万円を 5 年間

この奨学金は CWAJ 創立 60 周年を記念して設けられ、フィリピン在住の医学部学生 1 名に支給されています。

ガヤガイ, サンドラ・グリン　（フィリピン共和国）

セントルイス大学看護学科卒業
在学校：セントルイス大学医学部（フィリピン）

CWAJ はこんな団体です

CWAJ（College Women's Association of Japan）は、さまざまな国の女性たちが幅広い交流の中で友情を深めながら、首都圏を中心に教育・文化活動をおこなっているボランティア団体です。
1949 年に日本人留学生への渡航費援助を目的に発足した小さなグループが、現在では約 30 カ国から集まった 450 名の会員を有する会となりました。全員が無償のボランティアとして、毎年版画展やさまざまなイベントを開催し、その純益で奨学金を提供するほか、視覚障害者や帰国児童のための英語クラスなど、楽しみながら教育支援を進めています。活動は外国人と日本人がペアを組んで、原則として英語でおこないます。

CWAJ についてのお問い合わせはこちらへどうぞ。
membership@cwaj.org

元奨学生の声より

「（CWAJ の面接のとき）審査員の方々は、審査の合否に関係なく、私の夢を勇気づけようとしてくださいました。まだその夢を追い続けていることをご報告すると共に、自分も若い世代の夢を支えられるようになりたいと思います」
窪田 亜矢（1996 奨学生） 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授

「CWAJ との出会いは私の人生を変えました。まず奨学金のおかげで研究に専念できたこと。そして素晴らしい会員の方たちと知り合えたこと。この『絆』を一生大切にしたいです」
龍 訥（2009 奨学生、中国） 名古屋市立大学大学院医学研究科博士課程 3 年

「CWAJ 奨学金は、経済的な支援以上に、自分がほんとうに多くの方に支えられていることを教えてくれました。障害者として社会で働いていると多くの困難に直面しますが、そのようなとき、いつも一番先に心に浮かぶのが CWAJ です。それが心の支えとなって今日の自分があると思います」
南沢 創（1999 奨学生） 宇都宮市立簗瀬小学校教諭（音楽担当）

2012 年度福島被災学生奨学金

3 名、支給額　年 50 万円　2 年間

この奨学金は、東日本大震災で被災した福島県立医科大学看護学部の男女学生を対象としています。同学部の校舎は震災直後は野戦病院のようになり、ロビーにまで傷病者が寝かされていました。今年度の受給者 3 名はいずれも福島県の出身で、地震による自宅の損壊や原発事故による避難生活を経験した方たちです。
（学年は 2012 年 4 月現在）

青木　みずほ（看護学部 4 年）
妊婦さんやお母さんの悩みをじっくりと聞き、赤ちゃんの人生を幸せにできるような助産師になりたい。

秋山　彩子（看護学部 3 年）
助産師となり、原発の事故後も福島の地で出産・子育てをする母親をケアしたいと考えている。

山田　紘子（看護学部 3 年）
看護を一生の職業にしようと決めている。故郷に戻れたときは、看護師として地域再生に関わりたい。

CWAJ 現代版画展

第 57 回 CWAJ 現代版画展のお知らせ

会期：2012 年 10 月 19 日（金）
20 日（土）
21 日（日）
会場：東京アメリカンクラブ
（港区麻布台）

2011 年の第 56 回展は、アートを通した被災者の支援と復興を願って開催されました。新装なった東京アメリカンクラブに、192 名の作家による 192 点の作品が展示され、版画展の純益はすべて、東日本大震災の被災者支援と CWAJ 奨学・教育基金にあてられました。
CWAJ 版画展に長年にわたってご協力くださった故萩原英雄氏の作品をご紹介した併設展「深遠なる叙情の世界―萩原英雄の技と美」は、神戸ビエンナーレ 2011 にも参加して好評を得ました。また、ご遺族のご厚意により、相馬市に設立された「相馬広域心のケアセンターなごみ」に、萩原氏の作品を寄贈することができました。
CWAJ 現代版画展は、1956 年以来の長い歴史の間に、日本の優れた現代版画を紹介する展示会として、国内外で高い評価を築きあげてきました。これまでに、当会の外国人会員や版画展を訪れた外国人とともに海を渡った日本の版画は数知れません。版画展の純益は、CWAJ 奨学金制度およびさまざまな教育プログラムの基礎となっています。
視覚障害者に版画を楽しんでいただくための「ハンズ・オン・アート」も、CWAJ 版画展のユニークな試みのひとつです（写真右および p.4 参照）。また、若い版画家の支援の一助として、1985 年に「CWAJ 版画家奨励賞」、2005 年に「CWAJ ヤングプリントメーカー賞」、本年 2011 年には「版画家奨励賞」に代わって「CWAJ アーティスト・イン・レジデンス・プログラム」を創設しました。

2011CWAJ ヤングプリントメーカー賞（YPA 賞）

1 名　賞金 50 万円
廣瀬　理紗
東京造形大学大学院修士課程修了
国立印刷局　工芸官
賞金の使途は、2012 年 5 月の個展開催と、自宅の制作環境整備

2011CWAJ アーティスト・イン・レジデンスプログラム（AIR）

1 名　支給額 80 万円
田沼　利規
多摩美術大学修士課程修了
版画工房銅夢　講師派遣先　カナダ、ハリファクス市 Nova Scotia College of Art and Design (NSCAD) 派遣期間　2 か月

メルセデス・ベンツ・コネクションのご厚意により、ショールームにて、昨年 11 月より現代版画の展示即売をしています。現在は、ブルガリアの版画家の作品ですが、2012 年 12 月まで様々な作品をご紹介していきます。

メルセデス・ベンツ・コネクション
六本木ショールーム 2 F カフェ　にて
"ヴェリコ・マリンチェフスキー"の版画展示即売
2012 年 1 月 5 日 – 4 月 28 日

版画家のご厚意により売上はすべて CWAJ 震災支援基金に充てられます。

CWAJ の 視覚障害者支援活動

CWAJ は、**視覚障害学生奨学金**、現代版画展での**ハンズ・オン・アート**（手で触れる版画）、**VVI（英語を介した視覚障害者との交流の会）**の三つの柱で、長年にわたり視覚障害者支援を続けています。

視覚障害学生奨学金

視覚障害のある日本の大学・大学院生と海外留学する学生が対象です。2012 年度は 200 万円を各 1 名に支給します。（p.2 参照）

VVI—視覚障害者との交流の会

1975 年に発足した VVI（Volunteers for the Visually Impaired）は、視覚障害者と英語を介しての交流を通して相互理解を深め、下記のような活動を通して社会参加の手助けをしています。また、昨年 5 月には盲導犬訓練センターへの見学ツアーを催すなど、CWAJ 会員全体の啓蒙にも努めています。

ECG(English Conversation Gathering) 英会話の集い

視覚障害者と CWAJ 会員が英会話を楽しむ集いです。ゲストによるスピーチ、グループ・ディスカッション、情報交換などを英語で行ないます。2011 年は 4 月にセネガル出身の会員が母国について話し（視覚障害者 21 名、会員 26 名が参加）、9 月には南アフリカ共和国大使のご協力で公邸での集いに視覚障害者 27 名、会員 19 名が参加し、大使から同国の現状についてお話を聞いた後、昼食をいただいて、楽しい時を過ごしました。

JVDCB （日本盲人職能開発センター）英会話クラス

四谷にある同センターで、毎週火曜日と木曜日午後 1 時から 3 時、視覚障害者の職能訓練の一環として、英会話の指導をしています。

英検模試

筑波大学付属盲学校の生徒の英検受験準備のために、6 月と 11 月に CWAJ ボランティアによる模擬面接を行なっています。昨年はのべ 30 名の生徒が模擬面接を受けました。

日本語ニュースレターの発行

視覚障害者対象の日本語ニュースレターを年 3 回発行しています。メール、点字、拡大コピーで、2011 年には 170 名の視覚障害者に配布しました。

ハンズ・オン・アート —視覚障害者と楽しむアート

CWAJ では 1996 年以来、CWAJ 現代版画展で展示される版画から数点を選んで立体コピーを作成し、視覚障害者に手で触れて親しんでいただくプログラムを実施しています。2011 年の版画展では 25 人の視覚障害者が会場を訪れ、ボランティアガイドと一緒に立体コピーに触れたり、会場に展示されている他の版画の説明を聞いたりしながら、アートを楽しみました。

カルチュラル・プログラム

CWAJ のカルチュラル・プログラムとは、文化的、教育的、社会的なプログラムを、会員を始め一般の方や日本在住の外国人、学生にも楽しんでいただくための開かれた催しです。通常、プログラムは英語で行われます。

昨年の 11 月 18 日には、世界的建築家、丹下憲孝氏による講演会が行われました。丹下氏はモード学園コクーンタワーの設計で知られ、2011 年にはシンガポール建設局グリーンマーク賞も受賞しています。講演会はパソナ株式会社のご厚意により同社のホールにて行われ、満員の会場を埋めた聴衆が丹下氏の現代建築および持続可能な社会についてのレクチャーに熱心に耳を傾けました。講演会終了後は同社 1 階のカフェでビュッフェ・ディナーが供されました。

今年はカルチュラル・プログラムも東日本大震災への取り組みの一つとして、3 月 17 日（土）に六本木のフランシスカンチャペルセンターにて、チャリティーコンサートを開きます（詳細は p.1 参照）。米国出身の演奏家カーティス・パターソンとブルース・ヒューブナーによる琴と尺八のジャズ演奏です。福島県で出会ったこの二人にとって、福島県は心の故郷。震災後避難所でもたびたびコンサートを開いてきました。偶然ながら、ヒューブナー氏は CWAJ が奨学金を支給する福島県立医科大学看護学部で音楽を教えておられます。復興への祈りのこもった素晴らしい演奏を、どうぞお楽しみください。

その他の教育プログラム

帰国児童のための英語の会

毎週水曜日に CWAJ ボランティアが Children's English Circle (帰国児童のための英語の会)を開いています。オーストラリア、米国、フィリピンなど、海外生活を終えて帰国した日本人小学生がせっかく覚えた英語を保持できるように、子供たちに興味のあるトピック、ゲーム、季節の行事、歌などを中心に、楽しい雰囲気の中で英語を使うプログラムを用意しています。

外国人留学生との交流の会

日本の大学で学ぶ留学生を対象に、日本文化や日本語教育に関わるプログラムを提供しています。留学生たちが異文化体験を通し相互理解が深まるように、CWAJ 会員がメンターとなってお手伝いをしています。2012 年は 6 カ国からの 44 名の留学生が、香道や茶道を体験したり、流鏑馬、歌舞伎、能を観賞したりして、日本文化を学びました。

被災者支援の取り組み－P.1 より続く

CWAJ こころのケア・プロジェクト

2011 年 5 月、加藤進昌先生（昭和大学附属烏山病院院長）土井永史先生（茨城県立こころの医療センター院長）が、CWAJ センターにて福島の精神科医療の現状をご説明くださいました。

CWAJ フレンドリー・キルト

震災直後から会員有志が集まり、復興への祈りを込めて、半年がかりで美しいキルトを縫い上げました。家庭から持ち寄った着物地によるキルトを特賞としたラッフルは 12 万円を売上げ、全額が CWAJ 東日本大震災支援基金にあてられました。

ご支援ください

CWAJ へのご寄付は、金額を問わず年間を通してお受けしています。

振込先：三菱東京 UFJ 銀行青山通支店
普通　1812820
口座名: シーダブルエージェードネーションズ

お問い合わせ先：
CWAJ 寄付金委員長　元田 加代
E-mail: donations@cwaj.org

CWAJ 奨学金基金、東日本大震災支援基金にお寄せくださる寄付金で、またひとり若者がその可能性を伸ばし、大きく羽ばたいていきます。それぞれの分野で貢献できる人材を、あなたのご寄付が育てるのです。

CWAJ College Women's Association of Japan

CWAJ センター
141-0021 東京都品川区上大崎 2-24-13-703
Tel 03-3491-2091 Fax 03-3491-2092
www.cwaj.org